



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 東邦瓦斯株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9533 URL <https://www.tohogas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小澤 勝彦

TEL 052-872-9341

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	336,124	11.1	2,845	81.4	5,536	68.6	3,904	69.9
2021年3月期第3四半期	302,569	11.0	15,308	20.3	17,617	16.9	12,964	20.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 10,393百万円 (59.5%) 2021年3月期第3四半期 25,662百万円 (31.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	37.00	
2021年3月期第3四半期	122.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	622,883	363,492	58.4
2021年3月期	601,835	359,492	59.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 363,492百万円 2021年3月期 359,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		27.50		27.50	55.00
2022年3月期		27.50			
2022年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,000	13.9	15,500	14.7	18,000	8.3	13,000	51.3	123.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)Toho Gas Canada Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	105,606,285 株	2021年3月期	105,606,285 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	504,921 株	2021年3月期	7,792 株
------------	-----------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	105,509,865 株	2021年3月期3Q	105,601,648 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	10.3	8,500	32.1	15,000	17.9	11,000	4.6	104.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期末のガスのお客さま数は、前年同四半期末と比べ2万3千件増加し254万8千件となりました。ガス販売量は、前年同四半期と比べ1.4%増加し25億6千4百万m³となりました。用途別では、家庭用は、春先の高気温による給湯・暖房需要の減少などにより同4.2%の減少となりました。業務用等は、お客さま先設備の稼働増などにより同2.4%の増加となりました。LPGのお客さま数は、前年同四半期末と比べ9千件増加し60万2千件、販売量は33万5千トンとなりました。電気のお客さま数は、前年同四半期末と比べ7万9千件増加し49万4千件、販売量は、14億5千1百万kWhとなりました。

売上高は、前年同四半期比11.1%増加し3,361億2千4百万円となりました。売上原価は、同25.1%増加し2,393億2千9百万円となりました。供給販売費及び一般管理費は、同2.1%減少し939億4千8百万円となりました。これらの結果、経常利益は同68.6%減少し55億3千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同69.9%減少し39億4百万円となりました。

当第3四半期は、販売量の増加はあったものの、原材料価格の上昇に伴い、原料費調整制度による原材料費と売上高の期ずれ差益が差損に転じたことなどにより、前年同四半期に比べ減益となりました。

	単 位	当第3四半期 (2021/4~2021/12)	前年同四半期 (2020/4~2020/12)	対前年同四半期比較	
				増 減	増減率
ガ ス 販 売 量	百万m ³	2,564	2,529	34	1.4%
売 上 高	百万円	336,124	302,569	33,554	11.1%
売 上 原 価	〃	239,329	191,335	47,994	25.1%
供給販売費及び一般管理費	〃	93,948	95,926	△1,977	△2.1%
営 業 利 益	〃	2,845	15,308	△12,462	△81.4%
経 常 利 益	〃	5,536	17,617	△12,081	△68.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	〃	3,904	12,964	△9,060	△69.9%

(注) 原油価格(全日本CIF価格) : 74.0ドル/バレル (対前年同四半期比較 : 35.0ドル高)
為替レート(TTMレート) : 111.1円/ドル (対前年同四半期比較 : 5.0円安)

(参考1) お客さま数及び販売量

	単 位	当第3四半期 (2021/4~2021/12)	前年同四半期 (2020/4~2020/12)	対前年同四半期比較		
				増 減	増減率	
ガ ス	四半期末お客さま数 (取付メーター数)	千件	2,548	2,525	23	0.9%
	家 庭 用	百万m ³	378	394	△17	△4.2%
	業 務 用 等	〃	2,186	2,135	51	2.4%
	ガ ス 販 売 量 計	〃	2,564	2,529	34	1.4%
L P G	四半期末お客さま数 (配送受託件数含む)	千件	602	593	9	1.5%
	販 売 量	千トン	335	318	17	5.3%
電 気	四半期末お客さま数	千件	494	415	79	19.1%
	販 売 量	百万kWh	1,451	1,087	363	33.4%
平 均 気 温	℃	19.7	19.9	△0.2	—	

(参考2) 設備投資額等の状況

(単位：億円)

	当第3四半期 (2021/4~2021/12)	対前年同四半期(末) 比較	対前期末 比較
設備投資額	237	21	
減価償却費	273	△7	
有利子負債残高	1,493	227	194

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末比210億4千7百万円の増加となっております。これは、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。

負債は、前期末比170億4千7百万円の増加となっております。これは、有利子負債が増加したことなどによるものです。

純資産は、前期末比40億円の増加となっております。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を39億4百万円計上したことなどによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前期末の59.7%から58.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	単位	通期 (2021/4~2022/3)	前期 (2020/4~2021/3)	対前期比較	
				増減	増減率
ガス販売量	百万m ³	3,576	3,610	△34	△0.9%
売上高	億円	4,950	4,347	602	13.9%
営業利益	〃	155	135	19	14.7%
経常利益	〃	180	166	13	8.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	〃	130	85	44	51.3%

設備投資額	億円	485	343	142	41.4%
減価償却費	〃	374	374	△0	△0.0%

通期のガス販売量は前回見通し(10月29日公表)から変更しておりません。収支は、今後の原油価格80ドル/バレル、為替レート115円/ドルの前提で、売上高は4,950億円、営業利益は155億円、経常利益は180億円、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円を見込んでおります。

原油価格及び為替レートの見直しや効率化努力などを織り込み、売上高及び利益をそれぞれ上方修正しております。

(注) 前回(10月29日公表)見通し

- ・前提：原油価格75ドル/バレル、為替レート110円/ドル
- ・売上高4,800億円、営業利益110億円、経常利益135億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	67,644	65,006
供給設備	149,271	142,420
業務設備	26,368	26,232
その他の設備	44,506	47,899
建設仮勘定	15,063	15,291
有形固定資産合計	302,855	296,850
無形固定資産		
その他	8,726	10,693
無形固定資産合計	8,726	10,693
投資その他の資産		
投資有価証券	101,469	114,423
退職給付に係る資産	13,762	16,178
その他	27,134	27,506
貸倒引当金	△110	△100
投資その他の資産合計	142,256	158,008
固定資産合計	453,838	465,553
流動資産		
現金及び預金	40,731	24,732
受取手形及び売掛金	51,383	64,791
有価証券	10,000	—
棚卸資産	18,358	31,372
その他	27,745	36,697
貸倒引当金	△223	△264
流動資産合計	147,996	157,330
資産合計	601,835	622,883

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
固定負債		
社債	70,000	50,000
長期借入金	49,108	47,629
ガスホルダー修繕引当金	1,472	1,496
保安対策引当金	16,782	14,907
器具保証引当金	2,323	529
退職給付に係る負債	5,801	5,983
その他	14,236	15,946
固定負債合計	159,725	136,492
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	2,612	24,232
支払手形及び買掛金	30,158	35,678
短期借入金	4,709	4,170
未払法人税等	3,551	2,016
その他	41,585	56,800
流動負債合計	82,617	122,897
負債合計	242,342	259,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,072	33,072
資本剰余金	8,387	8,388
利益剰余金	258,850	257,943
自己株式	△40	△1,622
株主資本合計	300,270	297,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,179	45,857
繰延ヘッジ損益	6,198	10,771
為替換算調整勘定	1,005	2,520
退職給付に係る調整累計額	6,838	6,561
その他の包括利益累計額合計	59,222	65,711
純資産合計	359,492	363,492
負債純資産合計	601,835	622,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	302,569	336,124
売上原価	191,335	239,329
売上総利益	111,234	96,794
供給販売費及び一般管理費	95,926	93,948
営業利益	15,308	2,845
営業外収益		
受取利息	246	152
受取配当金	1,988	2,140
受取賃貸料	455	451
雑収入	542	728
営業外収益合計	3,232	3,472
営業外費用		
支払利息	572	551
雑支出	349	229
営業外費用合計	922	781
経常利益	17,617	5,536
特別利益		
投資有価証券売却益	671	—
特別利益合計	671	—
税金等調整前四半期純利益	18,289	5,536
法人税等	5,324	1,632
四半期純利益	12,964	3,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,964	3,904

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	12,964	3,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,009	677
繰延ヘッジ損益	2,215	4,554
為替換算調整勘定	△377	1,294
退職給付に係る調整額	528	△275
持分法適用会社に対する持分相当額	322	237
その他の包括利益合計	12,697	6,488
四半期包括利益	25,662	10,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,662	10,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、会社法第 165 条第 3 項の規定により読み替えて適用される同法第 156 条の規定に基づく自己株式の取得について、次のとおり実施しました。なお、以下の取得をもちまして、2021 年 10 月 29 日開催の取締役会の決議に基づく自己株式の取得を終了しました。

- 1 取得した株式の種類
当社普通株式
- 2 取得した株式の総数
500,000 株
- 3 取得価額の総額
1,596 百万円
- 4 取得期間
2021 年 11 月 2 日～2021 年 12 月 10 日 (約定ベース)
- 5 取得方法
東京証券取引所における市場買付け

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算 : 税金費用については、税金等調整前四半期純利益に当連結会計年度の見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、主に、LPG販売に関して従来は検針日基準によっておりましたが、期末日までの顧客への引渡し義務が完了した分を合理的に見積り、収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第 84 項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第 1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、第 1 四半期連結会計期間の期首において、利益剰余金が 996 百万円増加しております。また、当第 3 四半期連結累計期間の売上高が 4,870 百万円減少、売上原価が 4,926 百万円減少した結果、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 55 百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、今後の状況の変化によっては、翌四半期連結会計期間以降の連結財務諸表において影響を与える可能性があります。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	電気	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	205,319	49,965	28,920	284,205	18,364	302,569	—	302,569
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,615	695	196	2,508	12,469	14,978	△14,978	—
計	206,934	50,661	29,117	286,713	30,834	317,547	△14,978	302,569
セグメント利益	10,710	415	500	11,626	2,651	14,278	1,029	15,308

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工、不動産の管理・賃貸、プラント・設備の設計施工、総合ユーティリティサービス事業、住宅設備機器の販売、情報処理、リース、天然ガス等に関する開発・投資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,029百万円は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	電気	計				
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	210,992	63,274	42,473	316,741	19,382	336,124	—	336,124
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,670	1,267	200	3,139	13,210	16,350	△16,350	—
計	212,663	64,541	42,674	319,880	32,593	352,474	△16,350	336,124
セグメント利益又は損失(△)	△2,057	△192	1,803	△447	2,326	1,878	966	2,845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工、不動産の管理・賃貸、プラント・設備の設計施工、総合ユーティリティサービス事業、住宅設備機器の販売、情報処理、リース、天然ガス等に関する開発・投資等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額966百万円は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。当該変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の「ガス」の売上高が650百万円減少、「LPG・その他エネルギー」の売上高及びセグメント利益がそれぞれ55百万円増加、「電気」の売上高が4,275百万円減少しております。

(注) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、中期経営計画(2019年度~2021年度)において、都市ガス、LPG、電気の3つのエネルギーの最適提案等による「トータルエネルギープロバイダー」を目指しております。電気事業の売上高が増加していること等から、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「ガス」、「LPG・その他エネルギー」及び「電気」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しております。